



車窓の風景は、電気で流れる。

MEIDEN Engineer's Note : No.16 鉄道を支える電気設備



ゴトン、と電車が動きだす。止まっていた風景が流れたとき、電車には電気も流れています。私たち明電舎の仕事は、電車へ電気を供給すること。それも、安全に、安定的に。カギを握るのは、変電所と監視システム。変電所では、発電所から届く高圧の電気を変圧し、電鉄用の電線に送るための高い技術力が求められます。電車は変電所から送られた電気で、モータを回して動くのです。それだけではありません。1つの路線には変電所が

点在しています。それらを一括で監視し、電気の流れを見守る中央監視制御システムも鉄道を支えています。いま走っている新幹線、在来線をはじめ、これから開業予定の北陸新幹線や北海道新幹線にも私たちの設備が採用されています。電車は場所と場所、人と人、今日と明日をつなぐ大切なインフラ。東西南北、まだまだ延びていく乗り物です。だからメイデンシャにも終着駅はありません。今日もあなたのそばで、夢をのせて走っています。

>>> [明電舎 エンジニアズノート](#) [検索](#)

テクノロジーで、流れを変える。



株式会社 明電舎